
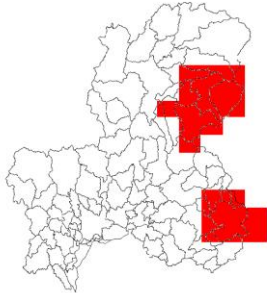


ユモトマムシグサ	<i>Arisaema nikoense</i> Nakai	絶滅危惧 I 類
		サトイモ科
選定理由	分布が局限されていて、個体数が少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 
形態の特徴	葉は通常2個、ときに1個、偽茎部と葉柄部はほぼ同じ長さ。葉身は5枚、ときに7枚の小葉に分裂する。小葉は長楕円形あるいは披針形、ときに不規則な鋸歯がある。花序は葉より早く伸長し、仏炎苞は通常緑色、ときに紫褐色、舷部は長卵形。付属対は有柄で棒状か棍棒状。	
生態的特徴	冷温帯の林床に生育する。花序と葉は5月ころ出現する。	
分布状況	本州の中部地方以北に分布する。岐阜県では東部にみられる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		
		

文責: 高橋弘